

日仏工業技術会 日仏国際シンポジウム 2019

『鉄道景観と木質デザイン』

Vert et Chemin de fer – du mobilier jusqu’ au paysage

日仏工業技術会では、日仏の工業技術を中心とした両国の交流を推進してきました。鉄道交通委員会と建築都市計画委員会の両委員会では、それぞれの分野で専門家交流を続けてきました。この度、フランス国鉄（SNCF）の施設部門を中心とした専門家の来日に伴い、日仏両国の鉄道関連施設や鉄道車両、鉄道景観に関する将来の展望について討議します。

昨今注目を浴びる、都市の木質化は、20世紀型の鉄とコンクリートによる都市環境を、環境負荷の低い木質材料に置き換えていくことを目標として、きわめて重要な政策課題です。フランスでは、SNCFがCEI-Bois: European Confederation of the Woodworking Industriesに加盟し、木材利用を含む施策を進めています。木の文化を基本としてきた、日本の建築文化を見直すとともに、国内で進む新しい木質建築の展望を踏まえ、鉄道をめぐる未来の景観形成に向けた議論を行います。

日時：2019年1月19日（土）10:00-17:30

会場：日仏会館ホール（〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 3-9-25）

定員：100名、日仏同時通訳あり

参加費：1000円（資料代込）、日仏工業技術会と日仏会館会員は無料

*参加申込は日仏工業技術会（info@sfiti.org、fax03-5424-1147）まで

主催：日仏工業技術会、フランス大使館、フランス国鉄（SNCF）

共催：公益財団法人日仏会館、日本建築文化保存協会

協賛：ナイス株式会社、総合資格学院

協力：東京理科大学、芝浦工業大学、工学院大学

<プログラム>

- 10:00 開会挨拶 菅 建彦（日仏工業技術会会長）
基調講演 腰原幹雄（東京大学教授）
安藤恵一郎（鉄道建築協会会長、元鉄道総研建築研究室長）
Patrizia Gregori, Chef de Projet Plancher Bois SNCF RESEAU
Département Développement Durable
- 11:30 セッション1 『車両と鉄道システム』
岡部憲明（建築家、岡部憲明アーキテクチャーネットワーク代表）
Patrizio Antonicolli secrétaire général Confédération Européenne
des Industries du Bois (CEI Bois) sur les perspectives de la filière
司会：岩岡竜夫（東京理科大学）
- 12:30 （昼食）
- 13:30 セッション2 『鉄道施設とデザイン』
横山太郎（東急電鉄鉄道事業部工務部施設課）（※）
比嘉雄一郎（ジェイアール東日本建築設計事務所）（※）
Thierry Teulet directeur technique gares AREP (Groupe SNCF)
司会：青島啓太（芝浦工業大学）
- 15:15 （休憩）
- 15:30 セッション3 『鉄道景観』
金井昭彦（ジェイアール東日本設計事務所）
Loïc Pianfetti – Chef Division Paysage et Biodiversité - SNCF RESEAU –
Direction Générale industrielle et Ingénierie - Département
Développement Durable
José Rivero – Architecte DPLG – Chef de Projets Ateliers Maintenance
Ferroviaire – AREP (Groupe SNCF)
司会：林玲子（国立社会保障・人口問題研究所）
- 17:15 総括 宮内瞳岨（鉄道総合技術研究所）
- 17:30 （終了）
総合司会：岡崎瑠美（芝浦工業大学）